

EVENT SCHEDULE イベント情報

学校説明会	授業見学説明会	校舎見学会	目白夕方説明会
4/27 [sun]・9/6 [sat]	6/10 [tue]・10/14 [tue]	6/14 [sat]	6/27 [fri]・10/31 [fri]
オープンスクール	入試体験会	親子天体観望会	入試報告会
7/19 [sat]・8/23 [sat]	11/15 [sat]・12/6 [sat]	12/6 [sat]	3/20 [fri]

※詳細はホームページでご確認ください(要予約)。
お車での来校はご遠慮いただいております。

イベント情報をメールにて配信いたします。予約サイトよりご登録ください。▶



GUIDEBOOK 2026



 日本女子大学附属中学校
THE JUNIOR HIGH SCHOOL AFFILIATED with J.W.U.

〒214-8565 神奈川県川崎市多摩区西生田1-1-1
TEL: 044-952-6705 (入試事務室)
FAX: 044-954-5450 E-mail: n-fuzokuh@atlas.jwu.ac.jp



Instagram



Facebook



ホームページ



日本女子大学附属中学校
THE JUNIOR HIGH SCHOOL AFFILIATED with J.W.U.

02	目次	15	特色ある教育	25	施設紹介
03	校長挨拶	17	校外学習	27	進路
05	日女生の1日	19	自治活動／年間行事	29	卒業生メッセージ
07	教育内容	21	クラブ活動	31	インフォメーション・よくある質問・アクセス
09	授業紹介	23	附属高校での学び	33	日本女子大学のあゆみ


THE JUNIOR HIGH SCHOOL
AFFILIATED with J.W.U.



PHILOSOPHY of

THE JUNIOR HIGH SCHOOL AFFILIATED with J.W.U.

自治と自由を重んじる、 建学の精神。

「森の中の学校」といわれるように、日本女子大学附属中学校は自然が残る多摩丘陵の一角にあります。木漏れ日を浴びて登校し、土の温もりを感じ、鳥のさえずりを聞き、四季折々の花に心を和ませる学校生活。

「豊かな自然が豊かな人間性を育む」という生活を大切に守りながら、ゆとりある時間の中で一貫教育を実践しています。

生徒たちが一步一步、自分の歩幅で成長していく日々。

その日々の喜びや感動、達成感を見守っている豊かな自然。

ここには、そんな素晴らしい環境があります。



校長 野中 友規子

学ぶとは、自分の明日を創ること

卒業生が残していった言葉です。多くの知識を得るだけでなく、自分なりに考え、深め、活用していくことで初めてその知識は自分のものとなります。そのようにして得た力は、生涯自分を支えてくれることでしょう。本校の生徒たちは皆、答えのない問いに向き合い、試行錯誤する過程を楽しんでいます。どの教科でも自分なりの答えを導き出すことを求められ、そこに未知の可能性と選択の自由を感じてわくわくするのだと言います。その姿を見守りつつ、変化が著しい社会の中でしな

やかに生き抜いていく、人間としての底力を磨いてほしいと考えています。自己の内部に問いを持ち続け、学びを通して得た力をもとに自分の核となるものを創り出していく。その繰り返しこそが人間力を育てていくのです。

人と競うのではなく昨日の自分を超越するために学ぶ姿は、喜びと輝きに満ちて生き生きとしています。森の中の学校で心豊かに深呼吸しながら、「私が私であること」「あなたがあなたであること」を尊重し合い、共に学んでいきましょう。



Summer 夏時間

美術



絵画・版画・金工・木工・陶芸などさまざまな作品で“わたし”を表現します。

夏服

夏は白いセーラー服に青いスカーフが映えてとても可愛いです!

12:40 / お昼休み

Lunch Time

at 食堂



昼食は食堂でとることができます! ラーメンやうどんなど、豊富なメニューがあります!

音楽



英語の授業では英語の歌を行ったり、英語の本を読んだりして楽しく学習しています!

英語



13:30 / 5 時間目

/ Start

15:30
自治の会

自治の会では、定期的にそれぞれの委員会や四部が集まり、連絡や報告・話し合いを行います。ここでは学校を動かしていく、大切な話し合いが行われています!

17:30
最終下校

Goal

17:10 / 下校



15:00 / CLUB



週に3回行われる体育の授業では、夏は半袖半ズボンを着用し、冬はジャージの着用も可能になります! 体を動かしながら様々な競技を学んでいます!

CLUB

クラブは全部で23種類あります。公演を行うクラブは3月・4月・十月祭の年に3回公演を行っています。

冬服
Cute!

冬服は紺のセーラー服です。スラックスは夏冬どちらも着用できます!

Student Life

日女生の1日!

12:20 / お昼休み

お昼休みにはみんなでお弁当を食べたり、遊んだりします。お弁当は教室やもみじ劇場でも食べられます!

8:50 / 始業

授業は8時50分から始まります。朝礼がある日は8時50分着席となっています!

8:40 / 朝礼

毎週火曜日に体育館から放送で行われる朝礼は、先生からのお話や、四部・委員会からの報告があります!

国語



13:10 / 5 時間目

友人のスピーチを聞いたり、文庫本をクラス全体で意見を出し合いながら読み深めていく国語の授業です!

Study...



Start

winter
冬時間

個性を尊重し、人を総合的に育てる教育。
“学び”の真価は、一生涯にわたり輝き続けます。



◀ カリキュラム



◀ クラス編成・教員数

バランスよく総合的、体系的に学ぶ。
基礎学力を重視した中・高一貫のカリキュラム体制。

教育内容

EDUCATIONAL CONTENTS

創立者成瀬仁蔵が唱えた「自学自動」の精神は、中学校において「自ら考え、自ら学び、自ら行動する」という教育目標として生徒たちにも深く浸透しています。学校は単に知識を習得するだけの場ではなく、授業やあらゆる場面で、自分で考え課題を見つけて取り組み、みんなで話し合っまとめた意見や作品を発表することで、さらに深い学びにつなげます。創立当初から脈々と続くこの学びの姿勢が自発的で主体的な生徒を育てていきます。一貫教育がもたらす豊かな時間の中で、アクティブに学びバランスのとれた真の教養を身につけ、一人ひとりの中に眠る資質と才能を掘り起こし、一生涯かせる教育。その真価は多くの卒業生の活躍が証明しています。

時間割

1日の生活時間

	夏季(4月～10月)	冬季(11月～3月)
	8:50 始業	
1～4時限	8:50～12:40	8:50～12:20
	昼食	
5～6時限	13:30～15:20	13:10～14:50
終礼・掃除	15:30～16:00	15:00～15:30
クラブ活動	16:00～	15:30～
最終下校	17:30	17:00

火曜日は8時40分から朝礼を行います。

1年生時間割表

	月	火	水	木	金
1時限	英語	道徳・総合	保健体育	音楽	国語
2時限	国語	英語	数学	社会	理科
3時限	美術	書写	国語	英会話	数学
4時限	美術	社会	英語	数学	保健体育
5時限	数学	理科	技術・家庭	国語	英語
6時限	社会	理科	技術・家庭	保健体育	バイオリン

複数の教員で授業を行います。

中学カリキュラム

	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保健体育	技術・家庭	英語	道徳・総合	書写
中学1年	4	3	4	3	2	2	3	2	5	1 ⅔	⅓
中学2年	4	3	4	4	2	1	3	2	5	2	
中学3年	4	4	4	4	1 ⅔	1	3	2	5	1 ⅓	

*1クラス42名 クラス編成6クラス

リーダーシップ教育

- ・自治活動
- ・6年間のうち中3・高3で2度リーダーを経験

協働力

- ・十月祭 ・クラブ活動
- ・音楽会(全学年全員での合唱)バイオリン演奏
- ・運動会(学年を越えたクラス対抗)
- ・球技会

グローバル教育

- ・国際理解教室
- ・春休み英語集中プログラム
- ・TOKYO GLOBAL GATEWAY GREEN SPRINGS 語学研修
- ・海外研修
- ・海外の学校とのオンライン交流会
- ・実用英語技能検定
- ・TOEFL Junior®
- ・TOEFL Primary®

自己の確立

本物に触れる教育

- ・理科年間40回以上の実験
- ・校外授業
- ・講演会と芸術鑑賞会

プレゼンテーション教育

- ・ICTを利用したプレゼンテーション
- ・多くのスピーチ ・発表授業

探究力

- ・年間研究
- ・「日本女子大学附属中学校のライティングリテラシー」

書く力

- ・行事ごとに感想をまとめ全員の作品掲示
- ・国語3年間で書く文章は原稿用紙約750枚

基礎学力の徹底

- ・各教科での基礎力を固めるための取り組み

学びの中心には、いつも「私」がある

なぜ学ぶのか？その答えは生徒達の将来のためにほかなりません。自ら進む道を選び、しなやかな強さを携えて歩いていくその日のために、本校の学習活動は、生徒の「私」を大切にしています。多様なテーマで「私」を語るスピーチ、「私」を見つめ細部まで描く自画像、「私」の“好き”を調べて紹介するレポート、本校は自己表現の機会にあふれています。そのたびに生徒は自分と向き合い、表現すべき「私」を耕していきます。日々の授業が「あなたはどう思う?」「なぜ?」の問いかけとともに進み、本物に触れる経験やとり着くまでの過程を重視するのは、学習内容を“自分ごと”として捉えるためです。そして、豊かに「私」を育てた生徒は、偏りのない学びの中で進む道の選択肢を広げていくのです。となりで学ぶ友人の「私」を尊重し、互いに高め合いながら。



教頭 國澤 恒久

授業紹介

CLASS INTRODUCTION



裁判所見学



鎌倉校外授業

——スピーチ発表は 自己を見つめる貴重な機会

国語

STUDENT'S VOICE

本校の授業では文庫本一冊を取り扱う。作者について調べ、皆で話し合いを重ね、その世界観を深め合う。また毎回の授業で行うスピーチは、友人の考えや思いに寄り添い、自分の価値観を広げると共に、自分自身と向き合う大切な時間だ。



言葉に対する深い学びとともに、生徒の自己発信と受容の場となることを大切にしています。文庫本を一冊通読し作品への理解を深めます。さまざまな題材で取り組む毎時間のスピーチ発表は、自己の内面を語る貴重な場であり、友人を知る機会です。1、2年生で行う複数教員での細やかな添削指導は基礎学力と文章力向上に役立っています。



——育まれる 多角的なものの見方

社会

STUDENT'S VOICE

新しい知識をただ教わるだけではなく、たくさんの情報や知識をパズルのように組み合わせ、自分の考えを持つ。一見簡単に見えて意外にできないことである。一人一人が考えを深め、答えを見つけ出すことができる本校の社会科が私は好きだ。



学びを深める中で抱く「なぜ?」「どうして?」という疑問や関心を大切に授業を進めていきます。このような学習を通して、物事の本質を理解し多角的に物事を洞察する力や抽象的に物事を捉える力を育み、自らの考えを熟成させていきます。そして、いずれは自ら社会に働きかけていく行動力を持てる人になってほしいと願っています。

論理的な思考力の養成

数学

STUDENT'S VOICE

数学の面白いところは色々な解き方があっても、最終的には誰もが同じ答えへとたどりつくことだ。だから、自分なりに工夫した式や図形を用いて正解が導き出されると達成感が得られ充実した気持ちになる。



生徒自らが考え、答えを導き出す過程を大切にしています。その後は反復練習を重ね、授業ごとに提出するプリントやワークを用いながらきめ細かく指導し、基礎力を固めます。全学年で行う少人数授業では、より発展的な内容の演習も取り入れています。個々の学習状況に柔軟に対応し、数学的なものの見方、論理的な思考力を養います。



年間40回を超える 実験・観察

理科

STUDENT'S VOICE

大自然の生田の森で学ぶ理科の授業は発見で溢れかえっている。大自然を肌で感じ植物と触れ、自らの手で実験を行い考える。なぜという疑問から導き出す発見は私達に探求する面白さを教えてくれる。私はそんな本校の理科が好きだ。



理科の授業はいつも理科室、または校地の自然の中で行われます。実験では、かつての科学者と同じように暗い部屋で光を観測し、原子・分子の世界に迫る変化を目の当たりにします。顕微鏡による観察や解剖等の実習を通じて、生物の魅力を探究する体験が毎時間できます。実物に触れることで味わった感動は、実社会で生きる力に通じます。



授業紹介

CLASS INTRODUCTION



3年間バイオリン必修

音楽

STUDENT'S VOICE

本校独自の伝統ある歌を沢山歌う声楽、さまざまな名曲に触れることができるバイオリンの授業は共に、音楽の本質を楽しみながら学べる。音楽会は日頃の成果を発表する機会となっており、学年を超えて刺激し合う場面があることが本校の魅力だ。



耳を研ぎ澄ませ辿りつく「私のバイオリンの音」。理想の音を見つける過程は容易でなくとも心を落ち着け丁寧に向かい合うことで美しい音との出会いがきっと訪れます。また基礎的な楽典やソルフェージュも学習。学校行事の歌をはじめクラシックの名曲に広く触れる声楽の授業と共に、豊かな音楽を伸びやかに表現する喜びの心を育みます。



さまざまな素材を使った制作活動

美術

STUDENT'S VOICE

美術の授業は「自分とは何か」と考える時間だ。校内の一本の木を、目の前のたった一人の自分を、どこまで観て表現できるかは自分次第。そうして自分の力だけで作品を創り上げることは「自分」と「自分だけの表現」を教えてくれる。



美術科では、生涯豊かな生き方ができるようさまざまな材料・素材を用いて制作を行います。入学した生徒が最初に取り組む作品は、自然豊かな校地内での「わたしの木」です。2年生では自画像デッサンで自分と向き合い、3年生ではこれまで経験してきたことを生かし、自由に絵画を描きます。制作中は互いの作品を鑑賞し魅力を感じ取ります。

スポーツを通して 養う心と身体

保健体育

STUDENT'S VOICE

本校ではバスケットボールやバレーボール、水泳、剣道など様々なスポーツを経験し、それぞれのペースで楽しむことができる。また運動会や球技会など三年生を中心に団結力が発揮される場を通して、クラスの絆を深めることもできる。



運動技能・体力の向上を目指し、体育館3棟・グラウンド・テニスコート・温水プールと恵まれた環境を生かしてさまざまな種目に取り組みます。また、生涯にわたりスポーツを楽しむ力をつけていくことを重視しています。年度が替わり、初めての行事である運動会では、3年生がリーダーとなり、学年を越えて競技や応援の練習に励みます。



先進的な授業を通して 未来へ

技術・家庭科

STUDENT'S VOICE

家庭科では実習が多く生活に役立つ術を多く習得できる。特に割烹着や調理実習、レポート作成など作品を通して自分自身と深く向き合い、新たな発見を得られる。同時に知識が増え、暮らしの中で活用できると自分が成長した実感が湧く。



沢山の实習や実験を通して、自分で問題を解決する力が身につきます。技術分野は生成AIを扱うなど、情報技術の活用を実践し、IT分野のジェンダーギャップ解消を目指しています。家庭分野は実際に触れて食材の特徴を知る調理実習やミシンでの作品づくりをします。生活と深く繋がり、自分の“得意”や“好き”が新たに見つかります。



授業紹介

CLASS INTRODUCTION



多角的な英語学習で 世界の扉を開く

英語

STUDENT'S VOICE

英語はただ机に向かうだけの授業ではない。ネイティブの先生と会話したり、英語劇や歌を練習することで、楽しみながら実践的な英語力を養うことができる。英語を身近に感じながら、自然と英語への自信が深まる授業は本校の魅力の一つだ。



総合的な英語の力を高めることを目標に、基礎学力を定着させる授業に加え、多読やライティングを取り入れて様々な英語表現を習得します。毎週のネイティブスピーカーによる英会話では実践力を磨きます。3年生（希望者）が参加する海外研修でのかけがえのない体験は、さらなる学習のモチベーションに繋がります。

希望者対象の講座

- 春休み英語集中講座 1年生
（春休み・2日間／学内）
- TOKYO GLOBAL GATEWAY GREEN SPRINGS 2年生
（冬休み・1日／立川）
- ターム留学 3年生
（1学期・約10週間／ニュージーランド）
- チェルトナムレディースカレッジ サマースクール 3年生
（夏休み・2週間／イギリス）
- パンクーバー語学研修 3年生
（夏休み・2週間／カナダ）
- 英検対策講座 全学年
（冬休み～・約1か月間／オンライン）



テーマは自由 3年間の集大成

年間研究

STUDENT'S VOICE

テーマの選び方は自分次第。興味のネタはあらゆるところに転がっているから、日々の学校生活はヒントの宝庫だ。一から自分で計画を立て、失敗したら原因を解明する。試行錯誤しながら行う調査過程は3年間の集大成で、生涯の宝物となる。



3年間の学びの集大成として、1年間自分で研究を進めていきます。自ら選んだテーマだからこそ、興味を持って取り組むことができ、新たな課題も見えてきます。毎年3学期には、すべての生徒の研究成果が3年生のフロアに展示されることで、お互いの成長を感じるとともに、下級生たちにも刺激を与えています。

学習サポート体制

学習に不安を感じる生徒を支えます。試験前には教員が付き添う自習室を、試験後には教科ごとの補習を設けます。継続的な学習が必須の数学や英語の課題は、iPadを使い細やかに添削指導を行います。教員と生徒の距離が近い本校では、日常的に校内のいたるところで即席の質問会が開かれています。そこに以下のサポートが加わります。

大学生チューターによる自習室

本校の学びを知り尽くした卒業生が、放課後や土曜日に設けた自習室のチューターとして学習のアドバイスをします。

進度に合わせたAI教材

希望者にAI教材「すらら」を提供します。個々の理解度にそった予習・復習ができ、週1で講師が対面でサポートします。



特色ある教育

EDUCATIONAL CHARACTERISTICS



社会で必要とされる 「書く力」の基礎を 身につける

探究学習

STUDENT'S VOICE

物事の本質や原因を見極め、自分が興味を持つ多様なテーマから知的好奇心を高め、答えを導き出すことで学ぶ楽しさを知る。年間研究を通して、自身の興味を見つけ、自己理解を深めることで、新たな自分と出会い、未来の可能性が広がる。



本校オリジナル教科書「ライティングリテラシー」を使用し、「テーマ」の概念から、図書やWEBの検索方法、インタビューやプレゼンテーションの仕方など「レポートの書き方」を体系的に学びます。3年生では中学校生活の集大成となる「年間研究」*に取り組めます。

※「年間研究」の詳細は、14ページを参照ください。



多岐にわたるテーマを 通しての国際理解教育

グローバル教育

STUDENT'S VOICE

本校では、他国との交流の機会が多い。2年生ではアフガニスタンについて考え、現地で活動されている方にお話を伺う。3年生では毎年フィンランドの学校とビデオ通話でお互いの文化を学ぶ。希望者は留学も可能。広い世界を見られるのだ。



本校では、学園をあげてアフガニスタンの女子教育支援を行っていました。中学2年生では、アフガニスタン出身で、日本で医師として活躍されている方の講演会を行っています。また、例年国際支援に携わる方々を講師にむかえ、お話を伺っています。

「書く力」「調べる力」 「発信する力」を養う デジタル学習

ICT教育

STUDENT'S VOICE

iPadを使うことで、友達と内容を共有しながら意見交換できるため、新しい視点から物事を見ることにも繋がる。また、ICTを使用するだけでなく、プログラミングの授業や講座で自らプログラムを作成することで、仕組みも学んでいる。



2021年度から1人1台iPadを導入し、Wi-Fi環境下、校内のどこでも通信をすることができます。各教科授業での使用にとどまらず、委員会活動やクラブ、校外学習など、さまざまな場面でiPadを使用した情報収集、発表、アイデアのシェアが行われ、ますます活用の場を広げていきます。



社会を知る 刺激的な学びの機会

キャリア教育

STUDENT'S VOICE

2月のキャリア教室では社会で活躍している卒業生からお話を伺い、これからの自分について考える。将来就きたい職業を具体的に考えるための前段階として、自分が社会に出るときに何を大切にしたいのかを考えることができる授業だ。



3年生では、研究者や弁護士、医師、アナウンサーなどさまざまな分野で活躍する卒業生を招き、仕事や社会について聞いてみたり、ディスカッションを通して将来のことを考えるキャリア教室が開かれます。卒業生のさまざまな社会での活動を聞くことで職業のみならず「働く」ということの意味を深く考えていきます。



職業	テーマ
起業家	「一番好きなこと」で皆と自分が幸せになる！ ファッション誌編集者からママのためのアパレル会社設立へ
医師	「医心伝心、私、失敗しないので？」 女性医師の役割とやりがい
記者	政治家取材で見てきた!? 人生100年時代こそ“やりがい”で生き抜く
心理士	他人の話を聞くときに大切なことを一緒に考えよう
地方公務員	保護動物について
建築家	場のデザイン
ITエンジニア	ITエンジニアのミッションは？働くって？仕事って？
創業研究者	創業研究の最前線 一勉強から研究への発展へ
公認会計士	会社の決算をチェック！ 数字だけじゃない会計士の秘密。自由な働き方を求めて。
国連日本政府代表部 専門調査員	ニューヨークの国連本部から生中継！ 国連って何してるの？
客室乗務員	航空会社のお仕事紹介 ～お客様にあんしんあったかあかるく元気をお届けするために～
デザイナー・アーティスト	人々を豊かにするデザインってなんだろう？

(2024年度)

教室だけが、学校じゃない。
校外で学ぶこともたくさんあります。

校外学習

FIELD TRIP

1年 軽井沢寮生活



三泉寮

胸像挨拶



STUDENT'S VOICE

軽井沢生活は発見と期待のパレード。クラスの友だちの知らなかった一面を見つけ驚いたり、委員として自分の役割を果たし充実感を味わったりと友達と自分それぞれの未知の扉を開き、中学校生活への期待が高まった3日間であった。



夏休みに入るとすぐ、長野県軽井沢に夏季の学寮として設置された三泉寮で2泊3日の共同生活をおくります。清々しい空気の中で学校の歴史を学んだり、話し合いを通して友だちとの関係を深めていきます。皆で役割を分担して生活することで、協力しあうことの大切さを学び、友達との仲も自然と深まっていきます。

2年 東北校外授業

STUDENT'S VOICE

東北の文化や地形について学んだ後、実際に現地へ行ってみると、事前に学んだからこそ得られる視点や肌で感じたことで見つけられた気付きがあり広がる学びに感動した。座学だけでは辿り付かない、深い学びを得ることができた。



約50年前から続く、伝統の東北校外授業。新幹線の中での車窓見学から始まり、国語や社会、理科などの授業で学習した内容を現地で体験します。文人の故郷や足跡を訪ねたり、自然の雄大さやその恵みとともに育まれた文化を学びます。伝統芸能や郷土料理も味わう、豊かな学びの旅です。



鹿踊り

三内丸山遺跡



尾去沢鉱山

十和田湖

3年 選択校外授業

「平和」「人間・文化」「環境」「国際理解」というテーマをもとに5コースが設けられた校外授業(2泊3日)。2年3学期に、生徒が自分の関心にそってコースを選択します。1学期から事前学習を行い、夏休みの最後に現地で“本物”を学習してきます。



広島平和学習

原爆や戦争の悲惨さを伝える施設を見学したり、被爆者の方と直接話をしたりしながら、平和について学習します。

STUDENT'S VOICE

実際の地を訪れて広島を過去を見たことで、当たり前でない平和な日々の尊さを強く感じた。被害者、加害者側両方の立場で、戦争が遠い存在と考えてはならないと思った。



関西歴史探訪

旅行で行くことの少ない奈良・京都の歴史的建造物を中心に巡ります。座禅や写経など、心を鎮め、「無」の境地を体験することができます。

STUDENT'S VOICE

座禅体験では、心を無にして集中することで、お寺の趣や積み重ねられてきた伝統をより感じられた。私は現地に実際に行ってみて、本物の歴史を感じることの大切さを学んだ。



越後農村体験

日本有数の米どころで、農作業のお手伝いをしながら、農村生活を体験します。農村の暮らしから日本を見る目を養います。

STUDENT'S VOICE

普段体験できない稲刈りや、農家の方との交流を通して食をより身近に感じる事ができた。広大な自然と共に、自然を生かした農業を学ぶことができる貴重な時間だった。



北陸 自然と文化の旅

フォッサマグナに位置する糸魚川、雄大な森に囲まれた白川郷、伝統文化が花開く金沢を訪れ、自然・地域との共生について学習します。

STUDENT'S VOICE

先人の知恵や伝統を実際に自分達を目で見て体験し北陸の文化に触れた。普段の学校生活よりも近い距離で自然や地域との共生について考えることができた貴重な機会となった。



ブリティッシュヒルズ

広大な敷地の英国村で留学体験をします。さまざまなアクティビティを通して、英語に慣れ親しみながら、異文化体験を楽しむことができます。

STUDENT'S VOICE

友だちと一緒に英語のアクティビティを楽しんだり、ブリティッシュの先生方と積極的に会話をした。普段の授業とは違い「話す」を主としているので、新鮮で良い経験となった。



2025年度よりブリティッシュヒルズコースに代わり、東南アジア異文化交流の旅(シンガポール3泊5日)が新設されます。



自治活動

STUDENT BODY GOVERNMENT



学校は小さな社会。

みんなで話し合いを重ね、
自分たちの手で学校生活を充実させます。

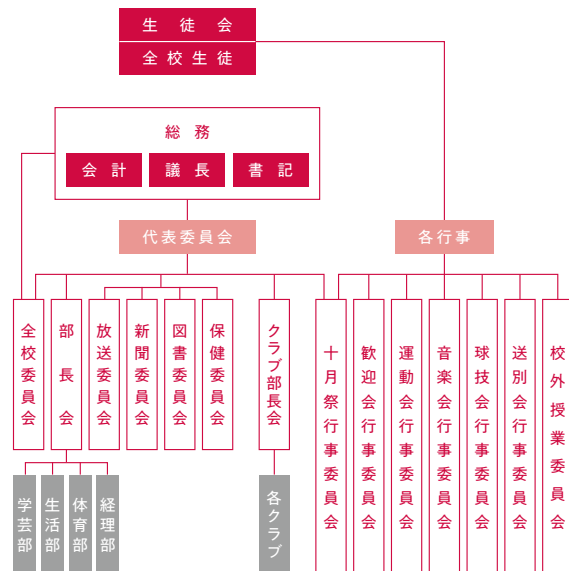
学校教育に自治活動を取り入れた最初の学校といわれるように、本校において自治活動は勉強と並ぶ中学生活の柱でもあります。「自ら考え、自ら学び、自ら行う」という教育理念を実践するために、学校生活の運営に生徒が主体となって取り組みます。

STUDENT'S VOICE

私たちの学校には、自治の会という全学年の委員が集まる会がある。他学年と意見交換をするのはとても楽しく、私はこの会を通して自分の意見を自信を持って発信できるようになった。



自治会組織



四部

クラス全員が四つの部のいずれかに入り、毎日のクラスの仕事を受け持ち、より円滑な学校生活を目指して活動します。

- 学芸部** 授業の用意や提出物集め、作品の掲示をします。授業の静粛を呼びかけ、終礼の司会を務めます。
- 生活部** クラス全員で分担して行う清掃が、しっかりおこなわれるように責任を持ちます。
- 体育部** 出席簿の取り扱いに責任を持ち、体育に関する仕事をします。朝礼の司会や進行をします。
- 経理部** 募金やベルマーク等、社会奉仕に関する活動をします。



代表委員会

生徒会総務、各クラスの代表である全校委員、四部や委員会の責任者が出席して開かれる代表委員会は、学校生活における諸問題や生徒会規約について、活発に議論が交わされる刺激的な場です。校風が自由であるからこそ求められる「自律する」ということの意味を、学年の枠を越えての話し合いから学んでいきます。



生徒総会

創立時より続く自治活動の中心にある生徒総会。生徒全員でこの1年の生徒会基本方針と十月祭基本方針を決定することから生徒総会は幕をあけます。自治活動の中心を担う生徒会総務がより良い学校生活を目指してたくさんの提案をし、各部署からもさまざまな発表があります。生徒の手による活気あふれる学校作りの中心となる会です。



年間行事

THE SCHOOL YEAR CALENDAR

4

April

- 入学式
- 創立記念日(20日)
- 生徒総会
- 新入生歓迎会
- 親睦会

5

May

- 運動会
- PTA総会
- 教育懇談会
- 中間テスト

6

June

- 読書週間・読書会
- 成瀬仁蔵生誕記念日(23日)

7

July

- 期末テスト
- 三泉寮生活(軽井沢)[1年生]
- TOEFL Junior®
- TOEFL Primary®
- 歌舞伎鑑賞教室[2年生]

8

August

- 理学部サマー・スクール(目白)
- チェルトナム・レディーズ・カレッジ・サマースクール[3年生]
- バンクーバー語学研修[3年生]

9

September

- 選抜校外授業[3年生]
- 東北校外授業[2年生]
- 大学教員による授業(目白)[3年生]
- ようこそ先輩[1年生]

10

October

- 十月祭(文化祭)
- 中間テスト

11

November

- 読書週間・読書会

12

December

- 期末テスト
- 音楽会
- スキー教室
- TOKYO GLOBAL GATEWAY GREEN SPRINGS [2年生]

1

January

- 自治選挙[2年生]
- 成瀬仁蔵告別講演記念日(29日)
- 日本漢字能力検定
- 実用英語技能検定

2

February

- 能楽鑑賞会[3年生]
- キャリア教室[3年生]
- 国際理解教室[2年生]
- 年間研究発表会
- 期末テスト

3

March

- 成瀬仁蔵命日(4日)
- 球技会
- 生徒総会
- 卒業式
- 春休み英語集中プログラム[1年生]



運動会

運動会は、6クラス対抗の縦割りで行います。各クラス2名の運動会行事委員が中心になってそれぞれの競技の練習に励み、競い合います。クラスが団結し、協力しあうことでクラス作りにも大切な行事です。運動をすることの喜び、皆で一つの目標に向かって努力する楽しさを体験します。



十月祭(文化祭)

十月祭の基本方針やさまざまな企画も、委員たちが話し合いを重ねて決定します。時に壁にぶつかっても「全校生徒の生き生きした様子を校内外に伝える裏方」という合言葉のもと、多角的にアイデアを出していきます。伸びやかに、そして着実に、十月祭を創りあげていく生徒たちは自信に満ちています。

STUDENT'S VOICE

自分の理想が現実になる。それが本校の十月祭の魅力だ。十月祭本番まで3学年がともに創り上げるまでの時間は私の財産となり、未知の自分と出会えた。活発な意見交換と共に作り上げる十月祭は本校の特色であり、考えることの成長を促してくれた。



創立記念式

1901年の創立を祝う記念式。創立以来の伝統でもある記念植樹は、「木植えの歌」を合唱しながら生活部が中心となって行います。



生徒会主催講演会

生徒会総務がその年の基本方針をふまえて講演者を選びます。当日の司会・進行は全て生徒達で行います。



読書会

図書委員会が中心となって進行する読書会は学年で行われ、本をもとに人間関係や将来のことなど、多様なテーマについて意見を交わす場です。



ようこそ先輩

本校卒業の大学生を迎え、1年生2学期に今後の学校生活のヒントとなるお話を伺う貴重な機会です。



スキー教室

スキー教室は2、3年生の希望者が参加します。初心者から上級者までレベルに合わせて講習を受けられます。



球技会

クラス対抗でバレーボールの試合を行います。授業で基本技術を習得し、1年間の集大成となる行事です。





クラブ活動

CLUB ACTIVITIES

本校ではクラブ活動も盛んで、ほとんどの生徒がクラブに所属しています。現在、運動系が9クラブ、文化系が14クラブあり、十月祭での成果発表や試合に向けて、日々楽しく切磋琢磨しています。協調性やリーダーシップなど、クラブ活動で学ぶこともたくさんあります。

好きだから、夢中になれる。頑張るほど、面白くなる。



STUDENT'S VOICE

本校にはバラエティに富んだ14の文化系クラブがあり、自分の好きなことに打ち込める環境が整っている。その活動が多くの人目に触れる十月祭は、文化系クラブにとって最大の見せ場。普段の活動の集大成として、クラブの仲間と協力して準備していく時間は、今しかできないかけがえのない時間である。

文化系

- 文芸 週2
- 茶道 週2
- 物理化学 週2
- コーラス 週2
- 軽音楽 週1
- 家庭科 週2
- 演劇 週2
- 書道 週1
- 社会科研究 週1
- 生物天文 週2
- 弦楽合奏 週3
- イラスト 週2
- インターナショナル 週1
- ミュージカル 週2

運動系

- 体操 週3
- バレーボール 週3
- バドミントン 週3
- 水泳 週3
- ソフトテニス 週3
- バスケットボール 週3
- 卓球 週2
- 陸上競技 週3
- 硬式テニス 週3



STUDENT'S VOICE

本校には9の運動系クラブがあり大会や十月祭に向けて日々練習に励んでいる。広い敷地と緑豊かな恵まれた環境の中でのびのびと自分の好きなことを思う存分探求することができる。その過程で新しい自分を発見し、新たな自分の可能性を見つけられる。これこそが本校のクラブ活動において最大の魅力だ。

HIGH SCHOOL LIFE

附属高校での学び



詳細は日本女子大学附属高等学校の
学校案内またはWebサイトをご覧ください。

日本女子大学附属高等学校への進学

中学と高校は一貫校としての連続性を生かしつつも、その独立性を保ち、発達段階に応じた教育を行っています。学習面では、中学で基礎学力と学ぶ姿勢を育み、それを土台に、高校で文系・理系に偏らないバランスの取れた知識と教養を身につけます。生活面では、普段の生活から行事まで生徒が運営する「自治活動」を、中高それぞれで行っています。中学生は高校生から教えを受ける“下級生”ではなく、学校の主役として活動します。中学の「自治活動」で得た成功と失敗の経験を携えて、より生徒に任せる部分が多い高校の「自治活動」へ。生徒は2段階で成長していきます。附属高校へは、推薦で進学します。本人が希望し、中学の学習・生活にしっかりと取り組めた生徒を、附属高校へ推薦します。例年、中学校卒業生の約95％が内部進学しています。

特別講座 知の泉

授業のない土曜日や長期休暇を有効に活用するために、学校が提供する学びの場です。本校では、「自学自動」の精神のもと、強制ではなく、他律でもなく自ら考えて自己実現に向けて行動する生徒を応援する特別講座「知の泉」を開催しています。

現代社会を見つめ 未来を見通す

- ニュースとどう向き合うか
～報道の役割を考える～
- ロシアのウクライナ侵攻をどう見るか
- 聴覚障害者を取り巻く社会環境と歴史

興味のある分野を より深く学ぶ

- 数学を究める
- 薬学を学ぶことによって見えてくる世界
- 宇宙から地球を観て、近未来の社会環境を考える

自分の力を伸ばし 将来に生かす

- TOEIC 対策講座
- 自己を見つめてPR！
～小論文対策講座～
- プログラミング入門

クラブ活動



文化系

- E.S.S. ● 囲碁 ● イラスト ● かるた ● クッキング ● 軽音楽
- 弦楽 ● コーラス ● 社会科研究 ● 写真 ● 書道 ● 吹奏楽
- 生物 ● 天文 ● 人形劇団ベロッコ ● 美術 ● V-RAM
- Play-Lot ● 文芸 ● 放送研究 ● ミュージカル ● レビュー
- ロボット研究

運動系

- 剣道 ● 硬式テニス ● 水泳 ● スキー ● ソフトテニス
- ソフトボール ● 卓球 ● ダンス体操 ● チアリーディング
- 馬術 ● バスケットボール ● バドミントン ● バレーボール
- フィギュアスケート ● 陸上競技 ● ワンダーフォーゲル

※2025年度の一覧です

グローバル教育

平和な社会の実現に貢献できる人材を育むことを主眼として、生徒の主体的な取組みを促進する活動を行っています。本校生徒の語学研修・留学、他国からの留学生受け入れを通じて、国際理解が深まるよう支援しています。

海外語学研修

30年以上にわたってニュージーランド夏期語学研修を実施し、近年は英国の名門女子校チェルトナム・レディース・カレッジ・サマースクールにも参加しています。海外での経験により、語学力とともに国際感覚や自立心を養います。



国内語学研修

エデュケーション・ニュージーランドによるコードキャンプや、英国国立スターリング大学の夏期オンライン英語研修高校生コースに参加することで、英語を用いながら外国の文化を学ぶことができます。



留学単位認定制度

AFS、YFUの2団体による校長推薦を得た年間派遣の留学に限り、留学中の32単位を包括的に認定する制度で、この制度を利用すれば出発前と同じ回生に復学することができます。例年3～5名ほどがこの制度を利用して留学しています。

高大接続プログラム

日本女子大学の附属校である本校の生徒向けに日本女子大学が各種プログラムを提供しています。附属校ならではの機会を利用することで、より深い学び、新しい学びに触れることができます。

科目等履修生制度

本校生徒が日本女子大学の提供する指定科目を受講して、大学生と共に学ぶ制度です。条件次第で「先取り単位」として認定されることもあります。

留学準備プログラム

日本女子大学の協定大学に留学した本校出身の大学生から留学の体験談を聞きます。また、英語資格試験の担当者が試験内容を紹介します。

春期セミナー

春休みに本校生徒が日本女子大学の体験授業に参加します。各学科の特徴を知り、大学進学に向けて進路選択を考える良い機会となります。

理学部サマースクール（中学生も参加可能）

夏休みに、各学科から複数の講座が開かれます。大学にある最先端の設備を利用して、本物の科学に触れることができます。日頃の授業をきっかけに科学に興味を持っている人も、苦手だけど楽しみたいという人も、科学の面白さや不思議を体験できる貴重な機会となっています。

カリキュラム

教育課程（数字は単位数）

	教科	科目	高1	高2	高3
	国語	現代の国語	2		
		言語文化	2		
		文学国語		2	2
		古典探究		2	1
地歴・公民	地理総合	歴史総合	2		
		日本史探究			3
	公共	倫理	2	2	
		数学Ⅰ	3		
	数学Ⅱ	数学A	2		
		数学B			2
理科	物理基礎	化学基礎	2		
		生物基礎	2		
	物理	化学		3	2
		生物			
	体育	保健	1	1	
		音楽総合	1		
芸術	音楽Ⅰ	美術Ⅰ		2	
		工芸Ⅰ			
	書道Ⅰ	英語コミュニケーションⅠ	3		
		英語コミュニケーションⅡ		3	
外国語	英語コミュニケーションⅢ	英語コミュニケーションⅢ			3
		論理・表現Ⅰ	2		
	論理・表現Ⅱ	家庭総合		2	1
		情報Ⅰ	1	1	
選択	選択A	5科目選択		2	8
	選択B	1科目選択			2
必修	総合的な探究の時間 ホームルーム		1	1	1

※1クラス46名 クラス編成8クラス

※2026年度 入学生より実施予定

施設紹介

FACILITIES

緑豊かな自然に抱かれた校舎やグラウンドで、勉強や芸術、スポーツ、そして自治活動や学校行事を通して、生徒たちは日々新しい発見や感動と出会います。生徒一人ひとりにとって、青春を謳歌できる思い出深い学校生活をサポートします。

もみじ劇場

渡り廊下に囲まれた校舎中央にある吹き抜けの劇場は、昼休みの生徒の憩いの場です。十月祭では軽音楽クラブのライブ会場になります。

声楽器楽室

3年間必修のバイオリンの授業を行います。貸し出し用も含め約200挺のバイオリンがあります。

図書室

開架式で図書委員が自発的に運営しています。図書は50,000冊を収納。新刊書も随時購入しています。

四季の移り変わりが美しい、広大な森に囲まれた静かな環境。

食堂

カフェテリア方式の明るい食堂。日替り定食や麺類など、メニューも充実しています。

西生田成瀬講堂大ホール

1800人規模の大ホールと400人規模の2つの小ホールからなります。さまざまな式典や講演会・学校説明会のほか十月祭のクラブ発表にも使用します。小ホールは学年単位の講演会や話し合いなどに使用します。

書道室

障子窓のある部屋で、心を落ち着かせて文字を書くことに集中します。

実験室

中学だけで4室の理科実験室を備えています。ほぼ毎時間実験や観察を行うことができます。双眼顕微鏡は1人1台使用します。

体育館

体育館は3つあり、火曜日の朝礼、体育の授業のほか各運動クラブや球技会にも使用します。

グラウンド

大きな空の下、緑の風が吹き抜ける運動場です。放課後は陸上クラブが活動しています。

被服室

被服室には1人1台のミシンがあり、落ち着いて製作を行い、自立心を養います。

調理室

調理室には4口のコンロが付いた調理台とオーブンが8つずつあります。教員の実演が見える師範台もあります。

屋内プール

設備が整った25mの温水プールです。水泳の授業や水泳クラブの活動で使います。

テニスコート

森の中にオムニコート4面、クレイコート2面があります。硬式テニス、ソフトテニスクラブの生徒達が技術向上を目指し、元気に活動しています。

天体望遠鏡

校舎に備え付けた天文台には直径25cm、長さ2mの天体望遠鏡があります。毎週、天文クラブが観測を行っています。

工芸室

広いスペースがある工芸室には、木工機械やガスバーナーを備えており、さまざまな創作活動が繰り広げられます。他に美術室、陶芸スペース、ギャラリーがあります。

FUTURE

進路

大学への進学

日本女子大学への進学

日本女子大学への進学を希望する生徒は原則として推薦されます。授業見学や説明会など大学での学びや生活を知る機会が豊富に用意されています。高校1年後期の各学部概要説明に始まり、2年には全学科の説明会・特別講義や研究室訪問なども行われます。その後、希望調査を行い、高校3年の1月に推薦入試を行います。7学部16学科を擁する総合大学であり、例年75～80%の生徒が自分の希望に合う学科を選び、進学しています。希望が特に集中してしまう場合を除けば、自分の希望する学科に進学することができます。（一部、進学のための要件が設定されている学科があります。）

他大学への進学

医学や法学、芸術など、自分の目標のために日本女子大学以外の大学を希望する生徒は25％ほどです。このうち半数以上は学校推薦型選抜（指定校制と公募制）で合格しています。本校のカリキュラムで学び「自学自動」の精神を身につけた生徒たちが、多くの大学で評価されています。

日本女子大学

家政学部

児童学科／被服学科／家政経済学科※1

生活の質の向上と人類の福祉に貢献する実践的総合科学を学びます。家政学部3つの学科で学ぶ事柄は、すべて私たちの身近な生活を素材にしたもので、自然科学的、人文科学的、社会科学的に探究し、理論を実生活に応用することにより、職業的能力など「生きる力」を大きく発展させ、社会をより豊かにする力を養います。

人間社会学部

現代社会学科／社会福祉学科／教育学科／心理学科

4つある学科では、それぞれの分野で「人間と社会」を深く理解する「豊かな知」、それを応用して「社会的に実践する技」を学ぶ授業や少人数制の演習、実習科目を提供しています。人間と社会を総合的に学び、ヒューマンサービスを中心に拡大する職業分野を視野に入れ、社会に貢献できるキャリア育成を目指します。

国際文化学部

国際文化学科

多様な言語を修得し、それを使用する地域の文化を学ぶとともに、芸術文化からポップカルチャーに至る表象文化の理解を深めます。海外留学等の「脱教室・脱キャンパス型」の実践的なプログラムで「国際力」「実践力」「発信力」を身につけ、グローバルな「越境」の視点から、新たな文化の創造に積極的に取り組む人材を育成します。

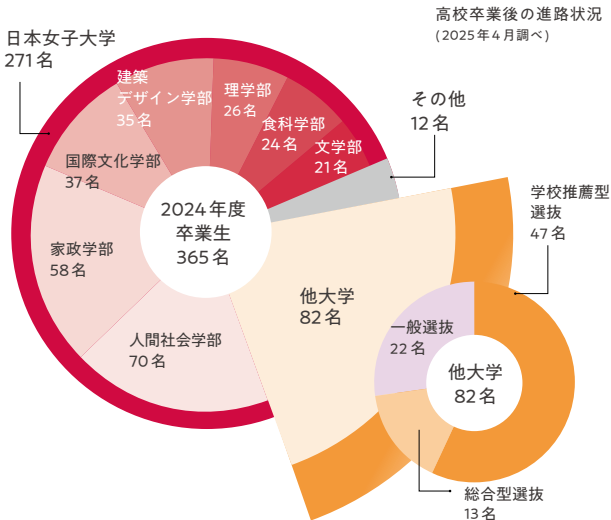
食科学部

食科学科／栄養学科

「食」が有する多様性を理解し、各学科の専門的知識をもって社会に貢献することができる力、日々の生活や社会を客観的に把握して自ら問題を発見し、様々な人と協働して解決に向かうことができる力を養います。「食」に関する正しい科学的知識を修得して「食」に関する様々な問題の解決に応用できる人材を育成します。

※1 2027年度より家政経済学科を基礎とした「経済学部経済学科（仮称）」を設置構想中

※2 2026年度より名称変更



文学部

日本語日本文学科※2／英文学科／歴史文化学科※2

現実とは違う世界のありかたについて想像する力、自分とは違う文化や歴史に生き、違う境遇にある人びとに共感する力、そして、その想像や共感を大切にしながら、自分で調べ、本を読み、考え感じた内容を人に伝える力といった、21世紀の世界でAIと共存しながら人が生きていくために必要な力をつけることを目指しています。

理学部

数物情報科学科／化学生命科学科

科学のさまざまな分野にある「なぜ?」に惹かれ「なんとかしたい!」という強い思いをもった人が理学部に集まります。不確かな未来を切り開くために科学者・技術者の意義と役割は一層大きなものとなっています。科学的思考と問題解決能力を備えた「理系女性」を育てます。

建築デザイン学部

建築デザイン学科

人文、理工、芸術を融合した総合学問として「住まう」人のための「建築デザイン」を学びます。その学びには住生活、建築計画、都市・地域計画、建築史・都市史、建築構造・構法、建築環境・設備、そして建築設計などの分野がありますが、どの分野を志向しても卒業と同時に一級建築士の受験資格を得ることができます。



図書館



百二十年館

併願制度

日本女子大学への推薦資格を保持したまま、他大学を受験（学校推薦型選抜を除く）することができる制度です。2025年度入試では以下の場合について併願が可能となりました。

- 国公立大学及び各省庁大学校の受験
- 私立大学は、日本女子大学にない8学部（医・歯・薬・看護・獣医・法・芸術・体育）のいずれか一つの学部の受験

2024年度 合格実績

国公立大学	2024
東京大学	1
東京科学大学	1(1)
お茶の水女子大学	1
東京外国語大学	1
東京藝術大学	1
横浜市立大学	1(1)
富山大学	1

私立大学 医歯薬系	2024
北里大学	3(2)
帝京大学	1(1)
東京医科大学	1(1)
東京女子医科大学	3(2)
日本医科大学	1
昭和大学	1
順天堂大学	1
東京薬科大学	2
明治薬科大学	2(1)

私立大学	2024
慶應義塾大学	11(5)
早稲田大学	4(1)
上智大学	10(6)
東京理科大学	5(3)
学習院大学	3(3)
明治大学	4
青山学院大学	10(4)
立教大学	7(3)
中央大学	16(9)
法政大学	4(1)
国際基督教大学	1
関西大学	1
武蔵野美術大学	8

() は推薦合格者数
一部抜粋

2024年度学校推薦型選抜（指定校制）一覧

【慶應義塾大学】

理工学部(4)／商学部(1)

【早稲田大学】

基幹理工学部(1)

【上智大学】

法学部(3)／外国語学部(2)

【東京理科大学】

理学部第一部(2)／工学部(1)／薬学部(1)／先進工学部(2)／理学部第二部(3)

【学習院大学】

法学部(2)／経済学部(2)／理学部(4)

【明治大学】

理工学部(1)

【青山学院大学】

経済学部(1)／法学部(1)／経営学部(1)／理工学部(1)／社会情報学部(1)

【立教大学】

観光学部(1)／現代心理学部(2)

【中央大学】

法学部(5)／経済学部(1)／理工学部(3)／総合政策学部(1)／国際経営学部(1)

【法政大学】

文学部(1)／グローバル教養学部(1)

【立命館大学】

理工学部(1)

【北里大学】

医学部(3)／獣医学部(1)

【昭和大学】

歯学部(1)

【東京歯科大学】

歯学部(1)

【日本歯科大学】

生命歯学部(1)／新潟生命歯学部(1)

【明治薬科大学】

薬学部(2)

【昭和薬科大学】

薬学部(1)

【東京薬科大学】

薬学部(2)／生命科学部(1)

一部抜粋

大学院

家政学研究科 修士課程

児童学専攻／食物・栄養学専攻／被服学専攻／生活経済専攻

人間生活学研究科 博士課程

人間発達学専攻／生活環境学専攻

文学研究科 博士課程（前・後期）

日本語日本文学専攻※／英文学専攻／歴史文化学専攻※

人間社会研究科 博士課程（前・後期）

社会福祉学専攻／教育学専攻／現代社会論専攻／心理学専攻／関連文化論専攻

理学研究科 博士課程（前・後期）

数理・物性構造科学専攻／物質・生物機能科学専攻

建築デザイン研究科 修士課程

建築デザイン専攻

※2026年度より名称変更

就職状況と主な就職先

日本女子大学の2024年度のが就職率は約99.2%（2025年3月現在判明分）、就職に強い大学として高い評価を得ています。また、内定先に対する満足度でも圧倒的多数の学生が「満足」という感想を抱いています。

【主な就職先】 ※（ ）内の数字は人数

日本生命(11)／明治安田生命(10)／住友生命(8)／第一生命(7)／りそな銀行(6)／ANA(6)／日本IBM(6)／JAL(5)／NEC(5)／千葉銀行(4)／損害保険ジャパン(4)／みずほビジネスサービス(4)／NTTコムウェア(4)／ANAエアポートサービス(4)／住友林業(4)／ALSOC(4)／ニトリ(4)／良品計画(4)／日本銀行(3)／国際協力銀行(3)／東京電力ホールディングス(3)／清水建設(3)／旭化成ホームズ(3)／東急リパブル(3)／NTT東日本(3)／KDDI(3)／アクセンチュア(3)／日本郵便(3)／JR東日本(3)／JALスカイ(3)／富士通(3)／トランスコスモス(3)／西村あさひ法律事務所(3)／AOKI(3)／みずほ銀行(2)／横浜銀行(2)／みずほ証券(2)／SMBC日興証券(2)／東京海上日動火災保険(2)／あいおいニッセイ同和損害保険(2)／ジブラルタ生命保険(2)／日本郵政(2)／大成建設(2)／竹中工務店(2)／Sky(2)／SCSK(2)／ルミネ(2)／大塚商会(2)／青山商事(2)／キングジム(2)／コクヨ(2)／マルハニチロ(2)／三菱食品(2)／カゴメ(2)／モランボン(2)／有限責任あずさ監査法人(2)／虎門中央法律事務所(2)／オリエンタルランド(2)／近畿日本ツーリスト(2)

／JTB(2)／伊藤忠商事(1)／ゆうちょ銀行(1)／三井住友信託銀行(1)／野村證券(1)／三井住友海上火災保険(1)／ソニー損害保険(1)／野村総合研究所(1)／大和総研(1)／出光興産(1)／鹿島建設(1)／NTTデータ(1)／NTTドコモ(1)／TOPPAN(1)／大日本印刷(1)／JR東海(1)／NHK(1)／札幌テレビ放送(1)／秋田テレビ(1)／岩手めんこいテレビ(1)／福島放送(1)／日立製作所(1)／楽天グループ(1)／日産自動車(1)／富士通Japan(1)／キヤノン(1)／キュービー(1)／大塚製薬(1)／味の素食品(1)／プリマハム(1)／森永乳業(1)／雪印メグミルク(1)／日清オイログループ(1)／伊藤園(1)／東洋水産(1)／ゼブラ(1)／ファンケル(1)／三越伊勢丹ホールディングス(1)／高島屋(1)／そごう・西武(1)／旺文社グループ(1)／セコム(1)／キディランド(1)／AIRDO(1)／カタル航空(1)／京王プラザホテル(1)／HIS(1)／創団四季(1)／SCRAP(1)／スクウェア・エニックス(1)／地方公務員(89)／国家公務員(12)／公立幼稚園教員(3)／公立小学校教員(38)／公立中学校教員(9)／公立高等学校教員(2)

※教員は期限付任用教員を含む

【内定先への満足度】

●満足 … 59.6% ● だいたい満足 … 37.2% ● やや不満 … 2.3% ● 不満 … 0.9%

有効回答率 92.7% 2024年度日本女子大学卒業生

INFORMATION & FAQ

インフォメーション・よくある質問

ACCESS

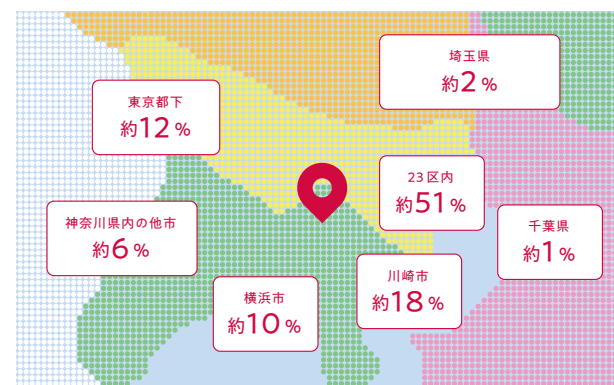
アクセス

通学圏

東京・神奈川を中心に、さまざまな地域から集まっています

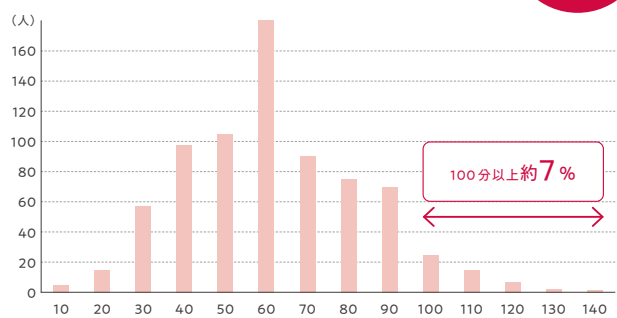
通学圏は東京都区内、東京都下、横浜・川崎地区を中心に広い範囲に及んでいます。多くの生徒が小田急線を利用し、最寄駅の読売ランド前駅から徒歩約10分で“森の中”の中高校舎に到着します。都心方面からの電車は下り線なので混雑も少なく、新宿から最寄駅までの所要時間は約30分（快速急行利用）です。

附属中学校生徒の通学圏（2024年度）



通学時間

30～90分が標準的な通学時間です。100分以上の生徒も約7%います。始業は8時50分で、遠方からも通学しやすくなっています。また、冬季(11～3月)は最終下校を夏季より30分早めて17時としています。



防災と防犯の取り組みについて

災害時においてさまざまな緊急避難経路を把握できるように、全校生徒対象の避難訓練を年に数回実施しています。さらに有志生徒によるAEDを使った人命救助のための講習を行っています。災害時少なくとも3日間は校内で避難生活ができるように、食糧、飲料水、サバイバルブランケット、毛布等を備蓄しています。また、生徒の安全のために正門には警備員が常駐し、巡回警備を行っています。



よくある質問

学費

2026年度の学費は未定です。ご参考までに2025年度学費を掲載します。

入学金	250,000円	入学手続きの際に納入	施設設備費は、所定の期日までに入学取り消しの手続きがなされた場合は返金します。
施設設備費(1期分)	102,000円		
授業料(年額)	511,000円	4月入学後に納入	※校納金の内訳 PTA入会金3,000円、PTA会費15,000円、 自治会・クラブ費5,000円、予納金50,000円、 ICT教育推進費50,000円 ・旅行積立金40,000円
施設設備費(2・3期分)	202,000円		
その他校納金*(年額)	163,000円		
納入合計	1,228,000円		

保護者転動に伴う復学

保護者の転動などの理由により転校（海外を含む）する必要が生じた場合、一定の条件のもとで復学を認めています。中学1年の1学期は必ず在籍していただきます。本校に在学した期間に応じて、復学できる期日が異なりますので、詳細はお問い合わせください。

土曜日の登校

総合的な学習の特別企画や運動会、音楽会などの行事があり、土曜日に登校する場合もあります。クラブによっては土曜日に活動をしたり、試合・コンクールに参加することもあります。基本的には家族と共に過ごす中で、教科の課題、年間研究、趣味や稽古事、地域ボランティア活動、読書など、有意義に過ごすように指導をしています。

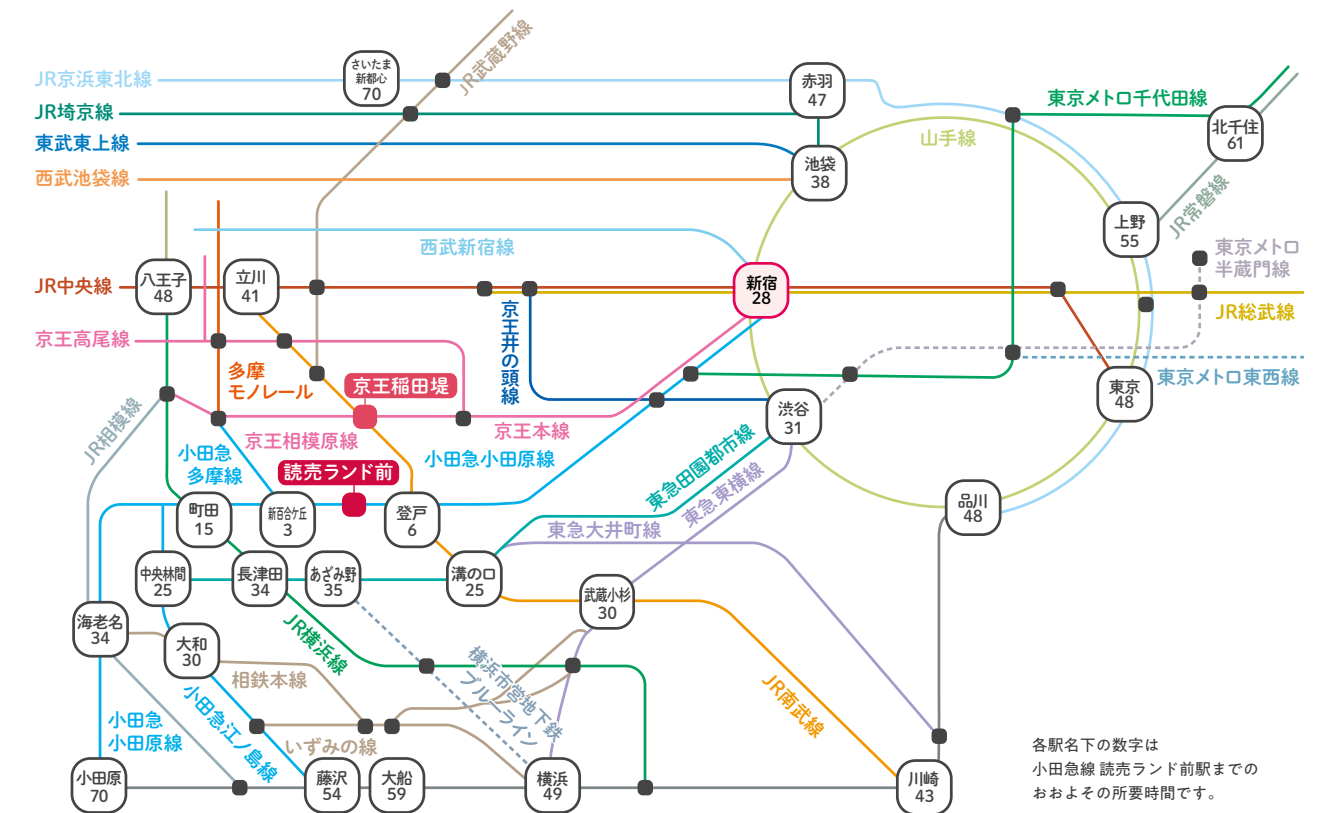
クラスの人数とクラス編成

1クラスの人数は中学42名、高校46名です。学年編成は中学が6クラス、高校が8クラスです。専任教員は中学36名、高校50名です。そのうち男性は、約3割となっています。中学校では、クラスの約4割が附属豊明小学校から、6割が他の小学校から入学し、一からクラスづくりを行っています。行事を経験するにつれて、出身校に関わらずクラスがまとまり、自分の居場所を見つけられるようになります。

校則

中学では「生活上のきまり」という、必要最低限の学校のきまりを教員と生徒で確認しています。ルールを細かく決めることより、個々の生徒がどうすべきかを考え行動する、そのことを大切にしている学校でありたいと思っています。本校では、セラー服に紺ネクタイを着用します。冬服の式典の時のみ、白ネクタイを着用します。

路線図

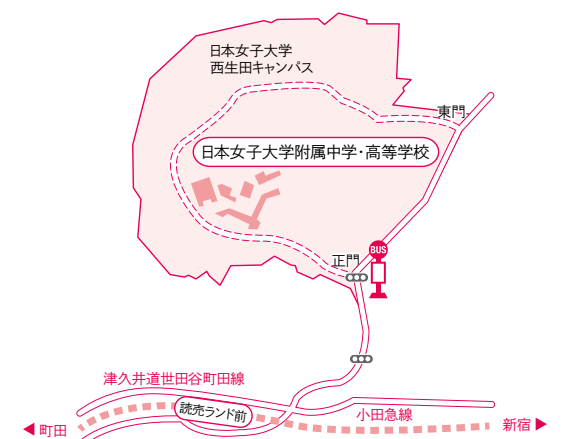


各駅名下の数字は
小田急線 読売ランド前駅までの
おおよその所要時間です。

主要駅からの所要時間

東京(約48分)	JR中央線	新宿(約28分)	小田急線	読売ランド前	徒歩 10分	日本女子大学 附属中学校
品川(約50分)	JR山手線					
池袋(約43分)	JR山手線					
渋谷(約35分)	京王井の頭線	下北沢(約19分)	小田急線			
八王子(約55分)	JR横浜線	町田(約15分)	小田急線			
小田原(約70分)	小田急線					

- 小田急線 読売ランド前駅より徒歩約10分
- 京王線 京王稲田堤駅 城下バス停よりバス約10分（生田折返場行 女子大前下車）
（JR南武線稲田堤駅から城下バス停まで徒歩約7分）
- 京王線 京王ようりランド駅よりバス約15分（寺尾台団地行 女子大前下車）



HISTORY of

Japan Women's University

三綱領

- | | | |
|------|--|------------------|
| 信念徹底 | | 自己を見つめ信念を確立する |
| 自発創生 | | 自発的な試みから独自性が生まれる |
| 共同奉仕 | | 社会との交わりが人を成長させる |

120年の伝統と叡智。 日本女子大学のあゆみ。

本校の創立者 成瀬仁蔵は、女子の生涯にわたる教育の意義と重要性を説いて、1901年（明治34年）に日本女子大学校を開校しました。「自学自動」のことばは、この創立時に唱えた教育方針であり、百余年を経た現在に至るまで本校の教育の根幹として受け継がれています。成瀬はその後幼稚園から大学院、さらに生涯教育の拠点となる「桜楓会」を発足させて、一貫教育の組織を完成させました。こうして生涯をかけて伝え続けた教育の綱領として、「信念徹底」「自発創生」「共同奉仕」の三つの教えを残しました。この三綱領は、生徒一人ひとりが日々その実践に努める教えであるとともに、卒業生の一生を照らす道しるべとなっています。

写真・成瀬記念講堂



第3代校長 渋沢 栄一



110年前の実験の様子

創立者

成瀬 仁蔵

1858（安政5）年、周防国吉敷郡吉敷村（現在の山口市）の下級武士の家に生まれる。「人は平等である」というキリスト教の教えに感銘を受け、牧師や女子の中等教育機関の校長として奮闘する中、1890（明治23）年に渡米。1901（明治34）年4月、日本女子大学校を創設。

